

令和4年度市民活動助成事業成果発表用資料

団体名	NPO 法人 NGO 多文化共生協働センター・川口
事業名称	第3回 川口多文化共生シンポジウム（私たちが共にできることは？）
事業概要	・開催日：2022年10月30日（日） ・場所：メディアセブン・プレゼンススタジオ ・内容：基調講演、一般講演及びパネルディスカッション

1. 助成事業における効果

- ・基調講演、一般講演及びパネルディスカッションを行ったことにより、参加者に川口市の多文化共生の実情の理解や外国人の生の声を聞いてもらうことができた。
- ・第1回のテーマは「多文化共生について考えよう」、第2回は「隣の外国人に訊いてみよう」、第3回の今回は「私たちが共にできることは？」というテーマにそって自分の立場で何が出来るのか、参加者の方が考える機会を提供できた。
- ・成果物（報告書）はシンポジウムの内容だけでなく、多文化共生関連の情報を盛り込み、図書館、公民館、市立中学校、等の関係者にも配布しており、今後研修用資料としての活用を期待している。

2. 事業実施して発見した課題と改善点

- ・「多文化共生」に関して懐疑的な意見を持つ市民の方や「多文化共生」に無関心の市民の方に参加してもらうために、集客の過程で心がけてきたが非常に難しかった。
(移民反対の意見を持つ市民1名参加)
- ・懐疑的な意見を持つ市民や無関心の市民への対応が今後ますます重要になってくると考えられるので、行政と連携して対応を考えていきたい。
- ・世界では移民・難民の多様性を活用して街づくりをしてきたケースや、国内でも30～40年前より外国人の増加に対応してきた自治体がある。そのような自治体や都市の事例を参考として、日本一外国人の多い街として国内のリーダーシップを取り、国に対して働きかけていくことを行政と連携して進めたい。

3. 事業実施時における新型コロナウイルス感染症に対する工夫と改善点

- ・会場参加とオンライン参加を併用したハイブリッド方式で開催した。
- ・会場参加者の人数は定員の半数以下に抑え、座席の間隔も十分に確保した。
- ・会場参加者の入場の際にはマスク着用、検温及びアルコール消毒を徹底した。
- ・講師、パネラーの使用したマイクはその都度アルコール消毒を行った。